

## 【1. ホームステイについて】

**Q: こども会議とは、どんな会議をしているのですか？**

A: たくさんの国のこども達が集まり「会議」を開いているのではなく、こども達が集団生活をキャンプをしたり、ホームステイを行うことで「人・文化の多様性を学び、心のつながりを深めること」を目的とした事業を行っています。この約2週間の事業全般を「こども会議」と呼んでいます。

**Q: どんな人達が来るのですか？**

A: 代表に選ばれた11歳のこども大使と、彼らを引率してくるシャペロン(成人)がアジア太平洋の約40の国・地域からやってきます。みなさんは受け入れる国・地域を指定することができません。それは、どこの出身者であろうと好意的に受け入れていただき、差別や偏見のないこどもを育てていきたいという事業の趣旨からです。(ただし、こどもの性別や、引率者受け入れなどの希望はお聞きいたします。)

**Q: 参加するこども大使は、誰がどうやって決めているのですか？**

A: 参加する国・地域の教育省や教育センターなど、APCCの定めた公的な機関がそれぞれの選考基準にのっとりこども大使達を選びます。国によっては成績優秀なこどもであったり、特技があるこどもであったりと様々です。

**Q: 受入家庭の両親が共働きの場合でもホストファミリーの応募はできますか？**

A: はい、できます。

ご両親が共働きの場合でも、それが理由で落選することはありません。ただ、やって来るこども大使の国によっては、12歳以下の児童を、保護者がいない状態で長時間おいておくことを、法律で禁止している国があります。今までにお受け入れいただいたご家庭では、ご自身のお子様と共にループのホストファミリーに放課後預かってもらった、親戚やご近所の方に協力してもらった、などの例がありました。

普段の生活と同じようにしていただいて構いませんが、その際こども達に危険の無いようご配慮いただければと思います。その他ご不明な点があれば、ご相談下さい。

**Q: こども大使(またはシャペロン)に、個室を用意しなければなりませんか？**

A: いいえ、その必要はありません。

特別なおもてなしをする必要はありません。ぜひ家族の一員として日常な生活の中に迎え入れて下さい。こども大使もその点は理解しています。学校で同年代のこども達と遊ぶ、お子さんと一緒に並んで寝る、お手伝いするなど、いつも通りの生活がこども大使にとっても、受入家庭のお子さんにとっても楽しい思い出になるようです。(イスラム教などでは、お祈りの時間に1人にしてあげる配慮が必要な場合もあります。)

シャペロン(大人の引率者)の受け入れの場合は、お互いのプライバシーのために、個室を準備しているご家庭が多いようです。

**Q: 英語が出来ないと応募は出来ないのですか？**

A: こども大使の受け入れに関しては、英語力の有無は問いません。

シャペロン(大人の引率者)に関しては、日常会話程度の英語力をお持ちの方がいらっしゃるご家庭にお願いしております。

日本語でいいので、「こんにちは、よろしくね。」とあいさつしましょう。にっこり笑顔であいさつすればお互いの緊張もほぐれ、「楽しくホームステイしよう！」という気持ちになるはずですよ。とは言え、遠い国から11歳という年齢で福岡へやってくるこども大使。家族の元を離れてよそのお宅に泊まるのは今回が初めて、という子もいるかもしれません。出国前の事前研修ではこども大使として福岡へ行く心構えをし、その目的を十分理解できている、実際にホームステイが始まると新しい環境に慣れるまでには時間がかかるかもしれません。そんなときにはこどもの気持ちをじっくり聞いて、まずは日本の家族となるみなさんがやさしく包んであげてください。伝えたいことは、身振り・手振りで十分伝えることができます。(病気・事故など緊急の場合は、シャペロン(引率者)を通じて実行委員会・APCC事務局も共に問題解決に努めさせていただきます。)

**Q: 学校登校とは、何ですか？**

A: こども大使受け入れ家庭の、同年代のお子様(ホストフレンド)と一緒に小学校に通わせていただくことです。ホストファミリーとして受け入れが決定したご家庭には、後日小学校にご提出いただく『学校登校依頼書』という書類をお渡ししますので、それを各学校へご提出下さい。

**Q: 自分とは違った宗教のこども大使／シャペロンを受け入れることになった場合に注意することは？**

A: 主な注意点は、食事(禁制食)とお祈りです。

一部宗教上の理由で食事や入浴などに配慮が必要な場合があります。滞在するこども大使のインフォメーションシート(自己紹介文)を事前にお渡しいたしますので、その子の宗教や食事に関する情報を事前にご確認ください。ただ、敬虔さの度合いについては、こども大使やシャペロンの家庭環境等にもよって、例年大きな個人差があります。

またホストファミリー決定後、同じ国のこども大使・シャペロンを受け入れるホストファミリー同士が集まり、準備を行う集まり(国別ミーティング)を開催し、情報交換や経験者のお話を聞くこともできますので、心配はいりません。

**Q: こども大使(シャペロン)が、ケガや病気になってしまった時は、どうしたらいいのですか？**

A: 海外からの参加者は、全員『海外旅行保険』に加入していますので、万が一、ケガをしたり病気になった時には、全額補償の対象になり、ホストファミリーの負担は発生しません。

こども大使は、ついつい自国での感覚で行動してしまったり、好奇心が旺盛で色々な物に手を出してしまい、思いもよらないトラブル(迷子や物損事故)やケガをしてしまうことがあります。事前に注意するように、ホームステイ開始前に全員に周知しておりますが、危険な行動等があった場合には、ご家庭のお子様と同じように注意していただいて構いません。

## 【2. 申し込み方法について】

**Q: 募集要項はどこでもらえますか。**

A: 2通りの方法があります。

(1) APCC ホームページからダウンロード (<http://www.apcc.gr.jp/>)

(2) 以下の場所で入手

- ・APCC 事務局、福岡市内 各区役所の市民相談室、
- ・福岡市内各区の市民センター
- ・福岡市市役所1階 情報プラザ、アクロス福岡 3F こくさいひろば、など

**Q: 募集要項を郵送で送っていただきたいのですが？**

A: 基本的には、ホームページからのダウンロードをおすすめしております。  
ただ、インターネット接続環境が無いなど、止むを得ない事情がある場合には、FAX か郵送にて対応します。

・FAX の場合は、[A4 サイズの用紙 8 枚分](#)です。

・郵送を希望の場合は、[返信用封筒の表面に、ご自分の住所・氏名・『ホストファミリー募集要項希望』と記入していただき、92 円切手を貼ってご郵送下さい。](#)

お申し出が締め切り直前の場合は、こちらからの返送が間に合わないことがありますので、ご注意下さい。

また、[着払いでの対応はしていません。](#)

**Q: スマートフォンやタブレットでも、オンライン申込はできますか？**

A: ページの閲覧は可能ですが、申込用紙関連はエクセルファイルの入力をする必要があります。エクセルが編集できるスマートフォン、タブレットであれば申込は可能だと思われませんが、[個人の電子機器の機能、操作方法などは、事務局ではわかりかねます。](#)ご使用の各メーカーにお問い合わせ下さい。

**Q: 全員が写った家族写真がないのですが？**

A: ご家族の雰囲気わかるものであれば、何枚かに分かれて写っていても構いません。

**Q: アドレスを入力したが、返信メールが来ません。**

**Q: データがダウンロードできません。** など

A: メールが届かない場合はセキュリティでブロックされているか、アドレスの入力間違いなどが考えられます。  
またフリーのメールアドレス(yahoo, hotmail など)をご使用の場合は、届かないケースがたまに見受けられます。  
メールの受信には“@apcc.gr.jp” のドメイン名のメールが受信できるよう設定して下さい。  
(設定方法は各自でご確認下さい)  
メールアドレスが間違いなければご自身の PC のセキュリティの状況をご確認いただくか、別アドレスでご対応下さい。  
どうしても難しい場合は、手書きでの応募をおすすめします。

[この他、お使いのパソコンの設定などに関することは、事務局ではわかりかねます。](#)

**Q: 締め切り直前に出しましたが、間に合いますか？**

**Q: 締め切りを超えても、受け付けてもらえますか？**

A: 書類の到着が締め切りに間に合うかどうかは、お住いの地域や郵送の状況によるため、事務局で明確なお答えは出来ません。当日消印有効ですので、余裕を持ってご投函下さい。

### 【3. 選考について】

Q: どうやったらホストファミリーに選ばれるのですか？

A: 以下、募集要項に記載の選考方法に基づいていますので、募集要項をよくお読み下さい。

こども大使の受け入れをご希望の場合は、来日するこども大使が11歳のため、**同年代(小5～小6、11歳前後)が最優先**になります。あとは、記入頂いた書類の情報を基に**総合的に**選考させていただきます。ただ、毎年定員を超えるご応募を頂いておりますので、条件を満たしていても落選となることがあります。予めご了承下さい。

Q: こどもが中学生/小学校低学年でも、応募はできますか？

A: はい、応募は可能です。

しかし、**こども大使の受け入れは同年代のお子様がいいらっしゃる家庭が優先されるため**、受け入れは難しい可能性があります。大人の引率者(シャペロン)の受け入れは、ご家庭のお子さんの年齢、またお子様のいる・いないにかかわらず応募ができますので、応募された場合にはシャペロンの受け入れをお願いすることがあります。

Q: 結果はいつ分かりますか？

A: **2017年4月上旬ごろ**、に APCC 事務局より応募者全員に結果通知を郵送する予定です。

Q: 英語を話せる国/英語圏の子を受け入れたいのですが？

Q: ○○の国・宗教の子を受け入れたい/受け入れをしたくないのですが？

A: 募集要項にも記載の通り、どの国のこども大使・シャペロンであっても、分け隔てなくお受けいただくことを応募の条件とさせて頂いておりますので、**言語や宗教の希望はお受けしていません**

Q: ホストファミリー説明会などの行事には参加必須ですか？

Q: 各行事に出席できないと応募できないのですか？

A: きちんとホームステイについての情報を把握したうえで当日に臨んでいただきたいと思っていますので、できる限りご参加頂くようお願いしております。どうしても、やむを得ない事情等ある場合(学校行事など)はご相談下さい。

Q: 福岡県外に住んでいても、応募はできますか？

A: いいえ、ホストファミリーの受け入れは**福岡県内在住のご家庭**に限らせていただいております。

### 【4. その他】

Q: 都合が悪くなった場合、キャンセルは出来ますか？

Q: まだ7月の予定がわからないのですが？

A: 受け入れをお願いすることになった場合、キャンセルは極力無いようにお願いします。

ホストファミリーの情報は、受け入れが決定した海外の参加者にも知らされます。海外参加者は、日本のホストファミリーと会える日を楽しみに準備を進めています。ホストファミリー決定後、準備期間、受け入れ直前のキャンセルは、事業の運営に大きな支障をきたしますと共に、楽しみしている海外の子ども達に少なからずショックを与えることとなりますので、ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

**Q: ホストファミリーの受け入れに費用はかかりますか？**

A: 受け入れが決定したご家庭には 1000 円の参加料の負担をお願いしています。これは、準備期間に開催される会場費、資料などの郵送費などに利用させていただいております。その他、ホームステイ期間中の生活にかかる費用（食費、交通費など）は各家庭でのご負担頂くことになります。

**Q: ホームステイ期間中、何をしたらいいのですか？**

A: 特別なこと、おもてなしなどをして頂く必要はありません。海外の子どもにとっては、日本の家庭に入って生活すること、学校に通ったりすること、ホストファミリーや地域の人と交流したりすることなど、全てが初めての新しい体験となります。親戚や友人の子どもを受け入れるような感覚で、普段通りの日常生活をしていただいで大丈夫です。近所の公園に行ったり自転車で遊んだりすることが子ども同士のよい思い出になるようです。また、期間中には、県内各施設の割引やイベントなどのご案内をいたしますのでぜひご活用ください。

**その他ご不明な点などがございましたら、お気軽に APCC 事務局までお問い合わせ下さい**